



### 見学会報告：

新日鐵（株）技術情報センター・TIC（Technical Information Center）



巻淵 健一さん（千葉市立こてはし図書館）

今回視察させていただいたTICは、新日鐵が製鉄事業を核としてさまざまな分野で事業を展開していくうえで、必要な「思索の府」として建設された総合技術センターのなかの図書館で、従来の情報蓄積保管中心の図書館から脱皮した“情報センター”と位置付け、TICと名付け、現在に至っているとのことである。富津市新富の豊かな自然と広いスペースの中にあり、蔵書は鉄鋼に係る専門書が約9万冊で、利用者は研究者、エンジニアなど年間およそ1,500人、スタッフは室長さんを含め10人である。

TICでは、平成10年4月より、従来の図書館情報システムを更新し、情報の一元化と発信機能の強化を意図し、図書館情報システム＝情報源あさり君（富津名物“あさり貝”と情報を“漁る”にかけて名付けられている。）を稼働させ、イントラネットによる情報サービスを開始しているが、このシステムについて説明を伺うのが、今回の視察の目的であった。ここでは詳しくは報告できませんが、これにより利用者は自分の部屋のデスクトップパソコンによっても、情報の検索のほか、種々のサービスを受けられることとなった。

平成10年10月27日付けで、生涯学習審議会・図書館専門委員会より、図書館の情報化の必要性とその推進方策について―地域の情報化推進拠点について―報告がなされましたが、今回の視察により公共図書館においても、情報通信基盤についての整備が望まれることを認識した次第です。

終わりに、丁寧にご教授いただいたTICの室長の田村様をはじめ職員の皆様、並びに研修の場を提供していただいた、ネットワーク協議会事務局の皆様にお礼を申し上げます。



深津 義子さん（川崎製鉄（株）技術研究所）

今年度の見学会が、11月25日に富津にあるTICで行われました。

TICは、平成3年、技術開発本部の中心的施設である総合技術センターの設立に伴い、「従来の“図書館”から脱皮した“情報センター”」として創設され、以来、国内の代表的な企業専門図書館として幅広い活動を展開されています。（ちなみに、総合技術センターは、広大な敷地に低層の事務棟、研究棟、実験棟などを配し、独自のゲストハウスまで所有しているという、民間企業の研究施設としてはあまり例をみない、大規模なものです。）近年、民間企業では情報の電子化が急速に進んでいますが、TICでも、社内ネットワークを活用して、各種の情報サービスを一元化した「情報源“あさり君”」を構築、昨年からイントラネット上で提供されています。利用者は自室で各自の机にあるパソコンから「あさり君」を利用することができます。

「あさり君」は、富津名物の「あさり」にかけて命名されたそうですが、そのユニークなネーミングもさることながら、「蔵書検索」をはじめ、雑誌目次サービス、各種申告書の受付、その他内容も豊富で、広く利用者に活用されているようです。（ちなみに、各サービス項目も「ある貝君」、「みる貝君」など貝の名前に因んでいます。）従来の本や雑誌などの蔵書の充実は勿論ですが、今後はより一層の電子化に注力されていかれるとのことでした。

見学会は、プロジェクターによる「あさり君」のオンライン・デモに続き、広く明るいTIC室内を見学、その後、総合技術センターの研究棟、実験棟をご案内いただき、質疑応答の後、閉会しました。詳細かつ親切にご説明いただきましたTICのみなさまに感謝いたします。

注 イン트라ネット【Intranet】

インターネットの技術を利用した組織内の情報通信網。電子メールやブラウザなどで情報交換を行い、情報の一元化・共有化を図る。





## 下妻 弘美さん (千葉大学附属図書館)

11月25日(水)、君津の新日本製鐵(株)総合技術センターで協議会開催の施設研修会が行われた。JR君津駅を降り、新日鐵の業務連絡バスに乗り、15分程で、総合技術センターに着いた。海に面した広大な敷地の中に通路で結ばれた低い建物が点在している。本館の1階ホールが今回の研修会の会場となっていた。研修は午後1時から行われ、20名程の受講生が参加した。

TICは、新日鐵グループにおける約100名からなるスタッフの総合シンクタンクJATIS(ジェイティス)の情報管理事業部門であり、ご説明いただいた今富氏ら10名のスタッフは、企画・管理・運営をまかされている。ユーザー数は約1500名だが、近隣4市(富津、君津、袖ヶ浦、木更津)の市民にも開放している(時間内閲覧)。内部職員はカードで24時間の利用が可能である。

新図書館システム「情報源あさり君」はイントラネットで、WWW上で各種サービスが受けられる。「あさり君」は富津名物「あさり貝」と情報を「漁る」にかけ、名付けられたそうである。サービス内容の主なものは、蔵書検索、社外データベース検索、目次情報、依頼業務受付、TIC情報、利用案内、情報検索マニュアル等である。「情報源あさり君」の概要については、「図書館情報システム「情報源あさり君」の構築(今富氏)」情報の科学と技術48(5):281-288,1998を参照されたい。

デモを見た感想では、鉄の硬いイメージとは対照的にかわいらしいアイコンが並び、全体の文章表現が平易で、手作りの印象が強い。特に質問に挙げた中に、目次情報などデータのメンテナンスがあったが、業者に外注しており、全体として外注化傾向にあるということである。図書室を見せていただいたが、女性スタッフが多いせいかわつらかな感じで居心地の良い場所となっていた。

最後に忙しい中貴重な時間をさいて下さった新日鐵の皆様本当にありがとうございました。また、事務局の方々お世話になりました。



## 協議会ニュース



### 理事会報告

#### ○第2回理事会

日時:1998年10月16日(金)  
場所:千葉中央コミュニティーセンター  
協議題:1.施設見学について  
2.研修会についての提案  
3.調査票についての校正  
4.加盟館蔵書目録について  
5.その他  
機関紙について(報告事項)

#### ○第3回理事会

日時:1999年1月14日(木)  
場所:千葉中央コミュニティーセンター  
協議題:1.研修会について  
2.その他  
機関紙について(報告事項)  
調査票について(報告事項)



### 行事等

#### ○施設見学会実施

日時:1998年11月25日(水)  
場所:新日鐵(株)技術情報センター・TIC(Technical Information Center)  
参加者:約20名  
内容:見学会報告を参照

#### ○研修会実施

日時:1999年1月22日(金)  
場所:浦安市立中央図書館  
参加者:約30名  
内容:1.講演会「県内公共図書館のネットワークの現状について」  
講師 浦安市立図書館 常世田 良 氏  
2.浦安市立図書館見学  
なお、詳細については、研修会報告を参照





## 研修会報告：

講演会「県内公共図書館のネットワークの現状について」  
＋浦安市立中央図書館見学



### 新井 勉さん（東京歯科大学図書館）

先日（平成11年1月22日）、この協議会が開催した本年度第3回の研修会について、一出席者としての感想を纏め、ご報告とさせて戴きたいと思っております。

研修会会場はどなたもよくご存知の浦安市立中央図書館です。かねがね機会があれば、一度見学したいものと思っておりました。現に事務室や書庫まで見学させて戴いております。もう一つ出席した動機があります。それは研修会のテーマ、つまり「県内公共図書館のネットワークの現状について」というテーマに、大いに惹かれたためです。唐突ですが、実はこの“ネット協”とは別に「千葉県大学図書館協議会」という団体がありまして、今年は私ども東歯大が開催当番館を仰せつかりました。議題については前回からの持ち越しで、「千葉県公共図書館協会との何らかの連携が考えられないか？」との提案を戴いたのです。丁度そんな折りこの研修会の案内を戴きましたので、全く“渡りに船”の有り難い企画でした。県下の公共図書館同士の貸借件数は、平成9年度実績で6万件を突破しているとか、県立図書館のトラック便が市町村の図書館を循環してくれているとか、或いは資料の所在確認のため「PC 目録千葉版」を前述の千葉県公共図書館協会が開発したとか等々…、全国的にみてもトップレベルにランクされる実績を伺うことができました。大学図書館との連携こそしてはいませんでしたが、市内の学校図書館には市立図書館のOPAC 端末が置かれているそうです。

昨今は、大学図書館と雖も地域住民への一般開放が求められています。しかしながら各大学それぞれに事情というものが有りますから、なかなか、一様に進展するような問題ではありません。ただこれが図書館対図書館の関係ということであるならば、館種を越えた協力もできないことではないのでしょうか。今更ながらそんな事を思いました。公共図書館の側でも、一般開放と図書館間協力は別問題と、切り分けて考えてくれているようです。この辺りのことこそ一番の収穫と思っております。“ネット協”の将来の姿が、なにやら見えてきたような、そんな気持ちを抱いて帰ってまいりました。



### 和田 満子さん（昭和電工機総合研究所図書室）

1月22日浦安市立中央図書館で開催された研修会——浦安市立中央図書館館長常世田氏による講演会と、見学会——に参加させていただいた。

この研修会に参加させていただいた目的は二つあった。一つは、「県内公共図書館のネットワークの現状について」という講演テーマが、館種を越えたネットワーク協力を目的の一つとする協議会の研修会にふさわしいと思ったこと。もう一つは、浦安市立図書館の活動があまりにも著名で、いつかは訪れてみたいと考えていたことである。

午前に行われた講演は、下記のような多岐にわたる内容であった。

- ・千葉県の図書館レベル；全国比で高い方、南北差あり、ネットワーク化も進んでいる
- ・ネットワークの要件：資料の共有化、意識・理念、物流、総合目録
- ・県内相互貸借：全国4位 県立図書館の業務としての協力車巡回
- ・県内の電子メディア利用：電子化が進んでいるとはいいがたいが下記の例が進行中

県立西部図書館の蔵書サービス（CD - ROM）、千公協13館のJ-BISC ベースの簡易総合目録、

浦安・市川協力（パソコン通信とエミュレータ利用）、浦安市の学校図書館にオンライン端末

- ・その他：通産省電子図書館プロジェクト、OPAC など

その中で興味を引かれたのは「物流」の問題における公共図書館と企業の図書館との認識の差であった。我々のサービス範囲は、1企業（関連会社も含めて）という限定された範囲内であること、それに比べ、公共図書館のカバーすべき範囲と数量の大きさは想像を遥かに越える物であること、この「物流問題」を抜きにして、ネットワークもサービスも成立しないことに気づかされた。

また、「館種を越えたネットワークをめざし、市県レベルでの発展に結びつけたい。その時期に来ている。」という竹内協議会会長のお話にも、千葉市NW協議会もその一翼を担えればとの気概が伺われ、うれしく思った。同時に、我々のような企業の図書室として、恩恵を享受するばかりでなく何が提供できるのかを、共有化というレベルで考えて行きたいと思った。

さらに、午後見学させていただいた「浦安市立中央図書館」の活動は、期待を裏切らないものであった。平日の午後2時なのに館内は一杯（私の地元の\*\*中央図書館の日曜日並）。ご説明いただいた業務内容・提供しているサービスから、職員の質の高さ・熱意などがわかり、浦安市民がうらやましくもあった。千葉県民の一人としてこれからの益々のご活躍を祈りたい。

## 加盟館だより

### 千葉経済大学総合図書館

(1) 「学術雑誌目次速報データベース」へのデータ送信（第2次）を行いました。

対象雑誌（紀要）

- ① 『商経論集』（千葉経済大学短期大学部）
- ② 『初等教育科研究紀要』（千葉経済大学短期大学部）
- ③ 『経営情報論集』（千葉経済短期大学部）
- ④ 『千葉経済論叢』（千葉経済大学）

ご承知のことと思いますが、学術情報センターのNACSIS-IRや

WEB(<http://www.nacsis.ac.jp/sokuho/>)で学術雑誌の目次をみることができます。

(2) 「図書館所蔵レポート・論文作成に関する資料のリスト」を作りました。

レポートや論文をまとめるのに参考にしていただけるように、図書のほか雑誌、ビデオ資料も載せました。今回から開始した『図書館資料紹介シリーズ』の一環として作成したものです。





# 加盟館紹介



## 東京情報大学教育研究情報センター

東京情報大学は、1988年に開学した学生数約2,300名の情報系単科大学（経営情報学部および大学院）です。ここに、大学図書館としての機能に加えて、視聴覚センター・LL教室等の諸施設を統合して運営し、高度情報化時代にふさわしい情報サービスを行うための組織として、当「教育研究情報センター」が設置されました。1996年秋には独立棟を竣工し、この建物を『総合情報センター』と称しております。延床面積4,356㎡、3階建のうち、2～3階が263席の開架制閲覧室になっており、現在の蔵書数は約8万冊です。

閲覧席内にはOPACほか各種情報検索用端末を置いた情報検索コーナー、20台のパソコンでインターネット等を自由に利用できるマルチメディア・ワークショップ、DVD等12台のビデオ装置のあるAVコーナー、さらに、図書館利用案内等の映像番組をデジタル化して蓄積・配信する“ビデオ・オン・デマンドシステム”などを備え、情報化を図っています。

センター1階には各種教育・研究用の施設として、マルチメディアの提示ができる大小のホール、文部省からハイテク・リサーチ・センターとして指定されている多目的研究室、各種メディア制作等のためのスタジオ、演習室等があり、これらの管理にも当センターの職員があたっています。

このほか当センターでは、大学本館棟の全教室のメディア教育環境の整備・運用、大学紀要の編集・発行など、大学の教育研究支援サービスの全般を担っており、近年は、センター施設を利用する学会への運営協力、ホームページを活用した各種サービスの実施（インターネットOPACの公開、大学紀要を全文電子化してインターネットへ公開等）、さらに学生の資格取得対策講座の運営など、図書館の枠組みにとらわれない幅広い業務を展開しております。とはいえ5人の職員は毎日目がまわるような忙しさで、理想とする“電子図書館”や“総合情報サービス”の実現には、まだまだ遠い道のりです。皆様のご指導、ご教示をお願い申し上げます。(http://www.iic.tuis.ac.jp)

### 各館の行事

(1998年10月～1999年3月)

月日	主催館	行事名	概要	場所、時間など
9月29日～11月23日	千葉市美術館	国立モスクワ東洋美術所蔵 シルクロードのかざり中央アジアとコーカサスの美術	中央アジア・コーカサス地方の染織、金工品など280点あまりを展示する。	
10月7, 14, 21日	千葉市立こてはし図書館	親子で楽しむ絵本講座	「学びを楽しむ日」の一環として3歳児とその親を対象として行う。	定員15組
10月21日、10月28日、11月4日	千葉市立高洲図書館	親子で楽しむ絵本講座	3回講座。3歳児とその保護者を対象。読み聞かせ等。	高洲コミュニティセンター10組
10月21日、10月28日、11月4日	千葉市立みやこ図書館	親子で楽しむ絵本講座	3歳児とその保護者を対象にわらべうた、手遊び、絵本の読み聞かせを行う。	各回とも15組30名
10月27日～12月13日	千葉県立中央図書館	平成10年度読書週間記念特別展「源氏物語」	館所蔵の青表紙本「源氏物語」の写本53帖、52葉の絵図の中から「夕顔」等数点を選んで展示	中央図書館展示ホール
10月28日、11月4, 11日	千葉市立こてはし図書館 花見川分館	親子で楽しむ絵本講座	「学びを楽しむ日」の一環として3歳児とその親を対象として行う。	定員15組
11月3日	昭和理工総合研究所図書室	化学の日 オープンラボ	「化学の世界をのぞいてみよう!」をキャッチフレーズに、総合研究所を一日オープン。図書室でも「パソコンと友達になろう」というコンセプトでCD-ROM、インターネットの体験コーナーを設置。	
11月9日～11月13日	千葉県立中央図書館	平成10年度関東・甲信越静地区公共図書館専門研修会	図書館活動の各専門領域における知識・技術の向上を図ることを目的とした体系的・計画的な研究を実施	かずさアカデミアホール。定員50名
11月14, 15日	千葉市立高洲図書館	失われゆく千葉の植物—福田洋写真展	郷土に関する写真展と関連本の展示	高洲図書館
11月14, 15日	千葉県立中央図書館	平成10年度千葉県公共図書館フェア	図書館員やボランティア団体による「人形劇」、「大型絵本」等の実演。児童を対象とした工作教室。図書館紹介のパネル展示	於：幕張メッセ
11月14, 15日	放送大学附属図書館	放送大学附属図書館所蔵コレクション展「むかし話と冒険者たち—桃と雀と狼と蟹—」	平成10年度千葉県生涯学習フェスティバル「ちばまなフェスティバル'98」に出品。19世紀に出版された「ちりめん本」（日本語話：英語他4カ国語版）と「マーク・トウェイン」の初版本を展示	於：幕張メッセ 国際会議場
11月17日	千葉市立南部図書館	親子で楽しむお話し会	親と子を対象に絵本の読み聞かせ等を実施し、絵本の世界の楽しさを知ってもらう。	15時、南部青少年センター
11月21日	千葉明德短期大学	サタデーライブラリー	地域開放。図書館内の絵本、紙芝居コーナーを幼児に開放する。(貸出無し)。	9時30分～12時
11月24, 25日	東京歯科大学図書館	東京歯科大学資料室一般開放	千葉県人であり本学の種学者である血脇守之助と野口英世との関わりについての資料などを公開	
11月27日	千葉県立衛生短期大学	第20回看護図書館協議会研究会	テーマ「自館データベースと二次資料の作り方	
12月5日～1月10日	千葉市美術館	草月とその時代 1945-1970	それまでの生け花の枠をこえた草月の戦後美術との交流を明らかにする。	
12月5, 12日	千葉明德短期大学	サタデーライブラリー	地域開放。図書館内の絵本、紙芝居コーナーを幼児に開放する。(貸出無し)。	9時30分～12時
12月12日	千葉県立中央図書館	クリスマスおはなし会、ミニコンサート	クリスマスにまつわる世界昔話の講話や人形劇、音楽家田中環さんを招いてのミニコンサートを実施	時間：10～12時。募集人員：100名。就学前児童、対象：小学生及びその保護者
12月15日	千葉市立東部図書館	Xマスジャンボお話し会	幼児、児童を対象に、講話、紙工作、パネルシアターなどを通して本との出会いを深める。	





# 東京歯科大学図書館

東京歯科大学は明治23年(1890)に創立され、本邦最初の歯科医学教育機関として知られております。遅れること10年で図書館も設置されましたので、来る西暦2000年には図書館もちょうど設立100周年ということになります。比較的、古典的な歯科医学書がよく所蔵されているとの評価を得ていますが、実は、残念なことに関東大震災で壊滅的な打撃を受けておりまして、その後、同窓の方々などに図書への寄贈を呼びかけて所蔵されたものが大部分です。

本学は昭和56年(1981)、当地に移転してきました。それまであまりにも手狭になっていた部屋から、キャンパスの中心に位置する独立棟へ移りました。移転前に較べれば余程に広いスペースになりまして、一部屋は本学の史料室としてまるで博物館のような様相を呈しています。ここには本学の建学者であり千葉県人(我孫子市出身)でもある血脇守之助の揮毫や、学僕として採用され傍ら勉学に励んだ野口英世の小学校時代の賞状などが展示されています。

本学図書館は3館で構成されております。千葉校舎に図書館本部、都心の水道橋病院と千葉県市川市にある市川総合病院にそれぞれ分館をおき、図書委員会で3館相互の連携強化を図っています。周知のようにここ数年間は外国雑誌の値上がり甚だしく、については学内規模での分担収集・分担保存が課題として急浮上しています。もうひとつの課題としては、やはりコンピュータネットワークによる情報センター機能の充実ということでしょう。学内LANのサーバも預かっており、障害のおきないように常に気を配っています。

学外者の利用についてですが、医療関係従事者であれば可としております。一般市民が利用する場合には事前にお問い合わせいただくか、あるいは公共図書館からご紹介いただけるなら有り難いことです。館外貸出こそ出来ませんが、閲覧はもちろん文献の検索や複写申込にも応じておりますので、どうぞご利用ください。

お問い合わせ先: TEL 043-270-3794 (直通) FAX 043-298-8020  
e-mail libstaff@tdc.ac.jp ホムページ http://www.libweb.tdc.ac.jp

月 日	主催館	行事名	概要	場所、時間など
12月18日	千葉市立高洲図書館	クリスマスおはなし会	手あそび、読み聞かせ等	30名、高洲コミュニティーセンター
12月19日	千葉市立こてはし図書館	冬休み映画会	動画等16mm映画の上映	各100名
12月19, 22日	千葉市立南部図書館	クリスマスお話し会	児童サービスの一環として、パネルシアター、ペープサート等を実施し、本と子どもの橋渡しをはかる。	19日: 15時、南部青少年センター、22日: 1回目14時、2回目15時30分、いずれも土気あすみが丘プラザ
12月19~23日	放送大学附属図書館	放送大学附属図書館所蔵コレクション展「回顧録19世紀出版・文化―よみがえる100年前の横濱・神奈川―」	幕末・明治の横濱、神奈川を中心とした古写真を始め、19世紀に出版された貴重な書籍や版画などを様々な角度から紹介	横浜みなとみらい21 クイーンモールギャラリー 入場無料
12月22日	千葉市立南部図書館	親子で楽しむお話し会	親と子を対象に絵本の読み聞かせ等を実施し、絵本の世界を楽しさを知ってもらう。	15時、南部青少年センター
12月22日	千葉市立みやこ図書館	クリスマスお話し会	3歳児、小学生を対象に指人形、パネルシアター、お話しを行う。	3歳児、小学生とも50名。保護者の参加可。
12月24日	千葉市立こてはし図書館 花見川分館	冬のおたのしみ会	素話、パネルシアター等職員が上演	
12月25日	千葉市立こてはし図書館	冬のおたのしみ会	素話、パネルシアター等職員が上演	
12月25日	千葉市立北部図書館	冬休みおはなし会	絵本の読み聞かせ、パネルシアター、素話をきいて子どもたちに冬休みの楽しいひとときをすごしてもらいます。	15時: 3歳以上、15時30分: 小学生
1月6日	千葉市立こてはし図書館	カルタとり大会	子ども用カルタを用いて行う。	
1月7日	千葉市立こてはし図書館 花見川分館	カルタとり大会	子ども用カルタを用いて行う。	
1月9日	千葉市立みやこ図書館	こどもかるたとり大会	小学生を対象とし、取り手と読み手にわかれ、かるたとりを行う。	小学生50名
1月16日	千葉市立南部図書館	こどもカルタとり大会	カルタとり、すごろく大会の楽しみをとし、図書館に親しんでもらう。	15時、南部青少年センター
1月16, 30日	千葉明德短期大学	サタデーライブラリー	地域開放。図書館内の絵本、紙芝居コーナーを幼児に開放する(貸出無し)。	9時30分~12時
1月16日~2月14日	千葉市美術館	収蔵作品展		
1月28日	千葉県立図書館	郷土行政資料研修会	「新聞記事情報の提供」に関する情報交換等	於: 県立中央図書館
2月1日~2月26日	千葉大学附属図書館	人生で初めて出会う本―児童文学の魅力	本学所蔵の児童文学関係図書の中から18~20世紀初頭に刊行された初版本を中心に、複製本、翻訳本等を展示、公開する。	
2月6, 20日	千葉明德短期大学	サタデーライブラリー	地域開放。図書館内の絵本、紙芝居コーナーを幼児に開放する(貸出無し)。	9時30分~12時
2月12日	千葉県立図書館	児童事仕研修会	平成10年度研修会報告並びに講演会	於: 県立中央図書館
2月20日~3月12日	千葉市美術館	第30回千葉市民美術展		
2月25, 26日	千葉県立中央図書館	平成10年度千葉県読書グループ育成研修	作家辺見じゅん氏を迎えて、県内読書グループを対象に1泊2日の研修大会を実施	於: 茂原市総合市民センター・ユートピア荘
3月6日	千葉明德短期大学	サタデーライブラリー	地域開放。図書館内の絵本、紙芝居コーナーを幼児に開放する(貸出無し)。	9時30分~12時
3月26日~28日	敬愛大学図書館	マルチメディアフェア'99 in ちは (主催: 千葉県、千葉市、千葉日報社)	千葉県に関する新聞記事のCD-ROM化研究成果を出版	於: 専横メッセ Hall14
未定	千葉県立中央図書館	参考調査研修会	参考業務担当職員の知識と技能の向上を図る	

ネットワーク通信 No. 2  
1999年3月9日

発行: 千葉市図書館報ネットワーク協議会  
事務局: 千葉市教育委員会生涯学習部図書館開設準備室内  
〒260-8730 千葉市中央区問屋町1番35号  
Tel 245-5976 FAX 245-5986